

斑点米カメムシ類情報第2号

令和7年8月1日
愛知県農業総合試験場
環境基盤研究部病害虫防除室

複数の種類で発生量が多い～やや多い

7月下旬の巡回調査における本田のすくい取り調査（47地点93ほ場）において、斑点米カメムシ類の平均捕獲数が4.42頭（平年2.67頭、前年3.91頭）で、過去10年間で2番目に多い結果でした（表1）。

また、畦畔雑草のすくい取り調査（44地点86ほ場）においては、斑点米カメムシ類の平均捕獲数が7.77頭（平年5.70頭、前年4.42頭）で、過去10年間で2番目に多い結果でした（表2）。

イネカメムシについて、地域やほ場によって発生状況が異なり、一部で発生が多いほ場が確認されています。今後は新世代虫の発生により、ほ場での発生が増加する恐れがありますので注意してください。また、大口町及び長久手市に設置した予察灯では、7月に入り誘殺数が急増しましたので、特に、尾張北部地域では発生に注意しましょう（図）。

防除対策は、7月16日発表の「令和7年度病害虫発生予察注意報第4号」を参照してください。なお、特定の農薬の連用を続けると、イネカメムシに対する農薬の感受性が低下する恐れがあります。1回目防除（出穂期）と2回目防除（追加防除）でIRACコードが異なるように薬剤を選定しましょう。

表1 斑点米カメムシ類の7月下旬本田すくい取り調査結果（1ほ場あたりの平均捕獲虫数）

種類	発生量	本年	平年
ホソハリカメムシ	多	0.53	0.28
クモヘリカメムシ	やや多	0.44	0.33
シラホシカメムシ類	やや多	0.14	0.04
イネカメムシ	やや多	1.52	0.54
カスミカメ類	並	1.63	1.37
ホソナガカメムシ類	やや多	0.05	0.04
ミナミアオカメムシ	並	0.11	0.08
合計	やや多	4.42	2.67

（平年：平成27年～令和6年の平均値）

表2 斑点米カメムシ類の7月下旬畦畔すくい取り調査結果（1ほ場あたりの平均捕獲虫数）

種類	発生量	本年	平年
ホソハリカメムシ	多	1.28	0.36
クモヘリカメムシ	並	0.20	0.33
シラホシカメムシ類	多	0.59	0.12
イネカメムシ	多	0.22	0.04
カスミカメ類	並	5.35	4.71
ホソナガカメムシ類	やや多	0.12	0.09
ミナミアオカメムシ	並	0.01	0.05
合計	やや多	7.77	5.70

（平年：平成27年～令和6年の平均値）

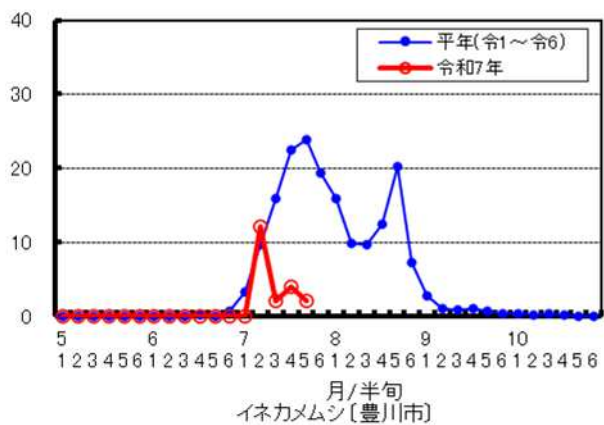
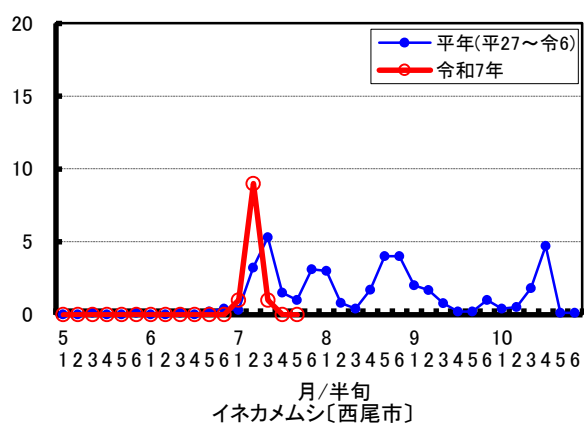
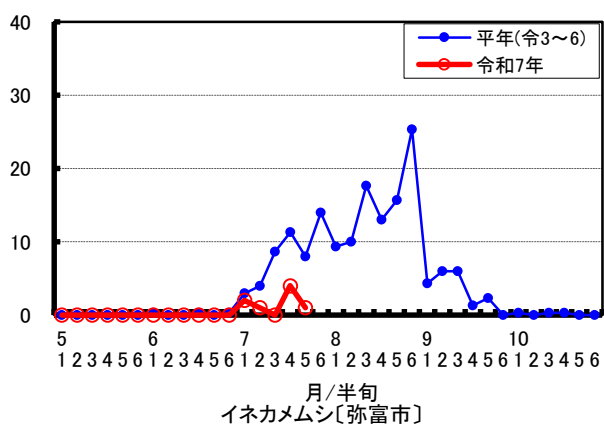
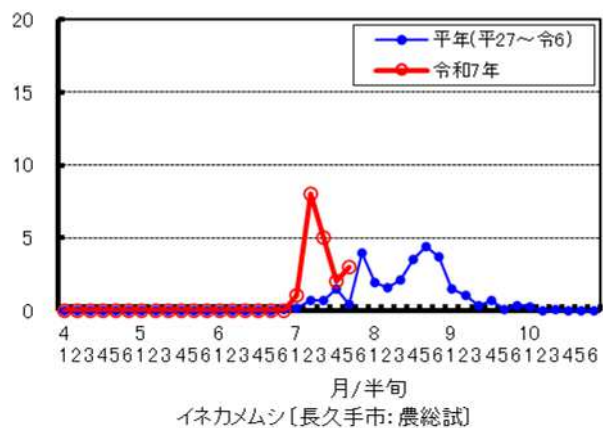
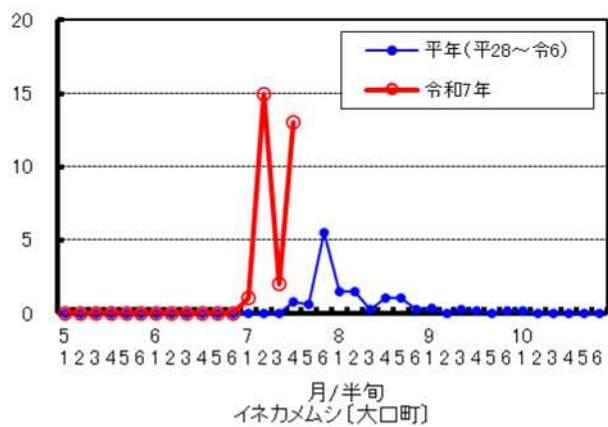


図 予察灯におけるイネカメムシの誘殺状況（単位：頭）